

# 大人が変われば子どもたちの未来も変わっていく

## 森のようちえんを訪問して

レポート：原 花実

### ★バスが園舎のようちえん

私は森のようちえんを見学して感じるものがたくさんありました。

まず、私たちが見学したデンマークの森のようちえんは園舎がなく、バスの中でご飯やおやつを食べていると聞いて驚きました。日本にも、森のようちえんはいくつかあります。ですが、園舎がなくバスで昼食をとるといったスタイルの森のようちえんはあまりないと思います。そして、園児たちはバスを降りてすぐ、森の中へ大きなリュックを担いで一生懸命歩いていました。その子どもたちにとっては毎日の日常的事のように、とても生き生きとした表情に見えました。

### ★のびのびと遊ぶ子どもたち

森の中へ入って、遊ぶ様子を見ていましたが、自分たちのしたいことをしたいよう、のびのびと遊んでいました。日本で子どもたちの様子はどうなんでしょう？そんなふうに感じながら見ていました。子どもたちを見ると、好きなことをするということから、よく一人一人が考えて行動しているように見えました。落ち葉、枝、草や土のおいをかきながら、風を感じながら、虫を見つけたり・・・なんでも遊び道具になること、することにとっても感動しました。

### ★失敗しながらも続けて遊ぶ

園児たちの遊ぶ様子を見ていると、大人があまり口出ししていないことに気づきました。日本の幼稚園では遊ぶ内容、時間、遊ぶ道具がほぼ決まっていて、その中でもルールがた



＜森のようちえんの子どもたちの相談に乗る＞

くさん存在して「みんなが同じこと」をしているように感じます。やりたいことを見つけ、自分で考えて、自分で失敗しながらも続けて遊べるのがとても良いことなんだろうと感じました。

### ★見守りスタイルの効果

森のようちえんの先生たちは、子どもがやりたいことをやらせ、そこにリスクがある時は、少し注意をして見ていました。子どもたちが何かしようと頑張っていると手を貸してあげたくなりますが、そこをあえて見守りスタイルでした。見守りだからこそ、子どもが手伝ってほしい時に先生に声をかけます。子どもの方からうまれる、コミュニケーションがたくさんありました。日本では大人がよく言います「危ないよ」「転ぶから走らない」でも転んでもないのに、危ないって何でわかるんだろう？見守りだから、リスクもありますがだからこそ子どもたちが体で感じて危険を知ることができるのだらうと思います。

### ★自分で発見して遊ぶ楽しさ

私が訪問した、森のようちえんにはたくさん遊ぶ場所があるそうです。また、雨が降っても雪が降ってもずっと外で生活するのは。森の中で自然が教えてくれることはたくさんあるはず。それを自分で発見して自分の知識や知恵としてこれからの人生に生かしていくことはとても大切なことです。それを小さい頃から、大自然の中で体験できるのです。これが子どもたちにとって幸せなことなんだと思える国が素晴らしいと思いました。

### ★話すことのできない生き物と触れ

私は子どもの頃からよく自然の中で遊んでいました。今考えると、その経験が自分にとってとても価値あるものだったのだと改めて思いました。また、自然の中にいるとき、様々な虫や動物に触れあいます。動物と接す

ることはとても心に良いことだと思います。話すことのできない生き物と触れ合うと「何をかんでいるのだろう?」、そう考えることで豊かな表現力が生まれるからです。

### ★デンマークのようちえんを見て

両親が新潟市秋葉区で行っている「Akiha 森のようちえん」も子どもたちにとって本当に良い経験になっていることを改めた感じるものでした。

デンマークのようちえんを見て、日本も大人が変われば子どもたちの未来も変わっていくと感じる見学でした。



<そろそろお昼かな>